

平成25年6月28日
水産庁

水産物の市況について（平成25年6月及び7月）

—東京都中央卸売市場における平成25年6月（平成25年5月21日～6月20日集計）の市況と、
平成25年7月の市況見通し（前月との比較）—

I 平成25年6月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量（水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計）は前月並みとなり、卸売価格（水産物全体の1キログラム当たり平均価格）は横ばいに推移しました。

II 平成25年7月の主要品目の市況見通し

「まいわし（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

「さけ・ます（塩蔵品・冷凍品）」

入荷量は新物のトキサケやベニサケが増加するものの、全体では前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「さば（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれるものの、水温上昇に合わせてマサバからゴマサバに切り替わることから、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

「するめいか（生鮮品・冷凍品）」

入荷量は前月と比べ大幅な増加が見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

「あじ（生鮮品）」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。（主漁場は九州西方海域、山陰沿岸）

「まぐろ（冷凍品）」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「かつお（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれるものの、需要のピークが過ぎつつあることから、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

凡例（目安）

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加（減少）	やや強（弱）含み
11～20	増加（減少）	強（弱）含み
21～50	かなり増加（減少）	かなり強（弱）含み
51～	大幅に増加（減少）	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)
(単位:千トン、円/kg)

	6月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
25年	47	802	46	796	53	800
前年	47	788	41	810	46	846

注1: 入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。
注2: 入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	6月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	347	101	86	89
さけ・ます(平均)	566	99	110	92
(ぎんざけ塩蔵品)	592	108	101	90
(あきさけ塩蔵品)	517	100	130	115
(ときさけ塩蔵品)	666	100	92	86
(べにざけ塩蔵品)	799	100	107	90
(さけ類冷凍品)	549	100	123	96
さば(生鮮品)	260	66	75	76
するめいか(平均)	325	76	79	78
(生鮮品)	308	71	71	70
(冷凍品)	417	100	116	119
あじ(生鮮品)	609	94	106	115
まぐろ(冷凍品)	1,215	106	92	88
(めばち冷凍品)	864	102	90	88
(きはだ冷凍品)	854	107	85	90
(くろまぐろ冷凍品)	4,093	109	109	116
(みなみまぐろ冷凍品)	2,114	99	80	91
かつお(生鮮品)	659	79	77	78

注1: 品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2: 6月の価格は1~20日までの速報値。平年とは平成20年~24年の加重平均値。

注3: さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4: さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5: まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先: 水産庁加工流通課企画調査班
代表 03-3502-8111
内線 6617 岡野、庄田、安井
直通 03-3591-5612